

2学期中間テスト予想問題 Cパターン | 天気・気象編

学習テーマ

気象観測 / 湿度・雲 / 気圧・風 / 前線 / 日本の天気

問題

問1 気温・湿度・気圧・風向・風力・雲量などを調べることを何といいますか。

問2 空全体を10としたとき、雲がしめる割合を何といいますか。

問3 「北風が吹いている」とは、どの方角から吹いてくる風ですか。

問4 気圧の単位を書きなさい。

問5 同じ気圧の地点を線で結んだものを何といいますか。

問6 地表付近の空気は、基本的に気圧の高い所から低い所へ移動します。この空気の動きを何といいますか。

問題

問7 低気圧付近では、空気は上昇しやすくなります。雲や雨が生じやすい理由を書きなさい。

問8 高気圧付近では、晴れることが多くなります。空気の動きに着目して、その理由を書きなさい。

問9 空気に含まれる水蒸気の量を表す割合を何といいますか。

問10 気温が下がり、水蒸気が水滴に変わり始めるときの温度を何といいますか。

問11 湿度は、「実際に含まれる水蒸気量 ÷ その気温で含むことができる最大の水蒸気量 × 100」で求められます。気温25℃の空気1m³に含まれる水蒸気量が11.5gで、最大の水蒸気量が23.0gのとき、湿度は何%ですか。

問12 空気中の水蒸気が冷やされ、水滴に変わる現象を何といいますか。

問題

問13 地表付近の空気中で水蒸気が凝結してできるものを何とといいますか。

問14 暖気が寒気の上にはい上がるようにしてできる前線を何とといいますか。

問15 寒気が暖気の下にもぐり込むようにしてできる前線を何とといいますか。

問16 温暖前線が通過するときに見られやすい天気の変化を、「雨の降り方」と「気温」に着目して書きなさい。

問17 寒冷前線が通過するときに見られやすい天気の変化を、「雨の降り方」と「気温」に着目して書きなさい。

問18 寒気と暖気の勢力がほぼ同じで、前線があまり動かない状態を何とといいますか。

問題

問19 梅雨の時期に日本付近にできやすく、雨やくもりの日が続く原因となる前線を何といいますか。

問20 日本付近の天気が、西から東へ移り変わることが多い主な理由となる風を何といいますか。

問21 夏の日本付近には、暖かく湿った空気が流れ込みやすくなります。これは主にどの方角からの季節風ですか。

問22 冬に日本海側で雪や雨の日が多くなる理由を、「大陸」「日本海」「山地」という語句を用いて書きなさい。

問23 台風が近づくと、どのようなことに注意が必要ですか。2つ書きなさい。

問24 ある地点の気圧は1016hPa、別の地点の気圧は1008hPaでした。2地点の気圧の差は何hPaですか。

問25 次の文のうち、正しいものを1つ選びなさい。

ア 風は気圧の低い所から高い所へ吹く。

イ 雲は、水蒸気が冷やされて凝結することできる。

ウ 高気圧では空気が上昇するため、雨が降りやすい。

エ 寒冷前線が通過した後は、気温が必ず上がる。

解答・解説

記述問題は、同じ内容が正しく書けていれば表現が異なっても正答とします。

01	気象観測	14	温暖前線
02	雲量	15	寒冷前線
03	北の方角から吹いてくる風。	16	広い範囲で弱い雨が比較的長く降り、通過後は気温が上がりやすい。
04	hPa（ヘクトパスカル）	17	狭い範囲で強い雨が短時間に降りやすく、通過後は気温が下がりやすい。
05	等圧線	18	停滞前線
06	風	19	停滞前線
07	上昇した空気が冷やされ、水蒸気が凝結して雲や雨が できるため。	20	偏西風
08	空気が下降して雲ができにくくなるため。	21	南東
09	湿度	22	大陸からの冷たく乾いた空気が日本海を渡る間に水蒸 気を含み、山地にぶつかって上昇・冷却され、雪や雨 を降らせるため。
10	露点	23	例：強い風、大雨、川の増水、土砂災害、高波、高潮 のうち2つ。
11	50%	24	8hPa
12	凝結	25	イ
13	霧		